



PRESS RELEASE

報道関係各位

2022年6月27日

サクラグローバルホールディング株式会社

サクラグループ、中国で新工場設立 — 中国市場での競争力を強化 —

洗浄滅菌事業を展開するサクラ精機、病理検査機器・器材のトータルサプライヤー・サクラファインテックジャパンなどを傘下に持つサクラグローバルホールディング株式会社（本社：東京、代表取締役会長：松本謙一）は、中国内のグループ会社、櫻花医療科技（泰州）有限公司の新工場を江蘇省泰州市に新設し、2022年6月23日、開所式を行うとともに、病理検査機器の生産を開始しました。

中国政府が2015年に発表した国産化を進める産業政策“中国製造2025”では、病理検査機器等も「高性能医療機械」として重点分野に位置づけられています。このような同国の産業政策へ対応するとともに、年々拡大する中国の医療機器市場を戦略上重要なマーケットと位置づけ、グループ初となる中国での製造拠点新設に至ったものです。

同工場で生産された製品はすべて中国市場で販売されます。

新工場の概要：

名称：サクラ中国工場

所在地：江蘇省 泰州市 医薬高新区

工場面積：3,464 m²

董事長：東 竜一郎

製造品目：自動染色装置、密閉式自動固定包埋装置等の病理検査機器

【サクラグローバルホールディング株式会社について】

サクラグローバルホールディング株式会社のもと、サクラグループ各社を「事業」と「機能」の両面で統合、分社し、それぞれの専門性を高めることで、競争力を向上させ経営の効率化を図りつつ洗浄滅菌事業における国内市場の深耕と海外への展開、病理診断事業における新興国市場への伸展、そして新規事業への進出を推進しています。また、グループ各社の事業と機能を柔軟に統合・分化させ、M&Aをも含めたグループ再編を継続的に行うことにより、事業の最適化とさらなる成長を目指します。

本件に関するお問い合わせ・資料請求は、下記までお願いいたします。

サクラグローバルホールディング株式会社

業務本部 担当：笹野俊広

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 3-1-9

TEL：03-3270-1666（代）



